

# ソーラン節と南中ソーラン

私の学校は、各学年二クラスしかないの  
で、二学年で団体演技を行う。5年生は高  
学年になるので、組体を経験するわけだ。  
私は、今年4年生の担任。3年生と一緒



に何をしようと春から考えていた。昨年度は、ミルクムナリを初めて実践。くるく  
る変わる向きに子どもたちは苦戦した。今年は、私の得意な南中ソーランをしよう  
と考えていたが、昔のソーラン節も教えたい。そこで、二つを実践してみようと思  
った。ただ、短い練習期間で、二つの演目。さらに高学年が主に踊っている南中ソ  
ーランを3年生が踊りこなせるかが不安だったが、水泳学習を3年生と4年生の  
ペア学習で行い、ドル平に挑戦し見事やりきった学年。今度は、チームを組んで、  
グループ学習として練習すれば何とかかなるかなと思った。

さて、まずソーラン節から練習する。指導しながら私も懐かしくてうれしかった。  
ニシン漁の話、ろこぎの話をした。厳しい労働の踊りだということを子ども達に伝  
えて踊りの練習を始めた。子どもたちの覚えはなかなかいい。天と地のポーズも腰  
を低く落とし決まっている。心配だった3年生の動きがなかなかいい。4年生はさ  
らにいい。やはり、異種学年のチームは励みになっていいのかなと改めて思う。ソ  
ーラン節は、あっという間に覚えたので、細かいところは、グループで教え合い、  
確認しながら進んだ。時間の終わりには、一人ひとり振り返りを書き、グループで  
交流した。

いよいよ南中ソーランの練習が始まる。ソーラン節とは違ってテンポの速い音楽  
にはじめはついて行かれへん！と叫んでいた子ども  
達だが、だんだん動きが様になってくる。特に綱引き  
は、深く沈んでいると、立ち上がり間が間に合わなくて、  
2回目の綱引きが遅れる。でも、周りを見て必死につ  
いてこようと踊る子ども達の姿に私は感動した



ただ、練習の時間は限られている。ソーラン節を2番覚え、南中ソーランも3番を覚えるとなるとはやり厳しいかなと考え、一番をやめて、2番を2回踊り、3番、後奏とした。ただ、南中ソーランになりさらに子どもたちは意欲的に練習したので、一番もできたかなとは思ふ。子ども達のグループノートを見ると、ソーラン節より南中ソーランの方が好き！と書いている。テンポが速いのが子ども達には受け入れられたみたいだ。

図工の時間や休み時間を使って大漁旗もつくった。インターネットで大漁旗をいろいろ見て、自分のクラスの旗には何を描こうか話し合いをして描いた。どのクラスもカッコイイ大漁旗が出来上がった。衣装は、Tシャツを用意したが、運動会が終わってもお気に入り、学校に来てる子が多い。また、運動会一週間前には、伊藤多喜雄の「南中ソーランへの道」というDVDの中の、民謡大賞の時の踊りや北海道大学生の本物の踊りを見せて、気持ちを高めるのに使った。その時の感想を一部紹介する。



ソーラン節練習してきてしんどかったです。でも、もっとかっこよくおどれるようにがんばりたいです。一番すきなおどりはろこぎです。ろこぎをかんぺきにしたいと思います。

(3年)

練習してきて、まえよりかは上手になったと思います。でもまだ、Vになるところがまだなのでがんばります。テレビを見てとてもすごかったです。しっかりろこぎをしていて、重いというのがとても感じられます。あんなふうになれたらいいです。

(4年)

ソーラン節は、テンポがゆっくりでした。だけど、ふりはむずかしかったです。ろこぎや天と地のポーズが特にむずかしかった。南中ソーランは、むずかしいふりばかりでした。ソーラン節で出てきたふりもあって、「これっ出てきた！」って思った時もあった。やっている、とっても楽しかった。

(4年)



運動会当日は、子どもたちは精一杯踊り、たくさんの拍手をもらった。今回ソーラン節を踊ったから、南中ソーランの良さを感じ、子ども達は楽しく踊れたのではないかと私は思っている。